

スポーツ経営学科 専門教育科目の履修とコース選択の手引き(2012年度以降入学生)

1 スポーツ経営学科の教育目的と専門教育の分野

スポーツ経営学科では、経営学、スポーツ経営学、スポーツ科学を複合的に学び、スポーツ・教育・健康関連事業の発展に資することのできる人材の育成を目的としています。

スポーツ経営学科の専門教育科目は以下の4つの分野から成り立っています。

スポーツ経営学科必修科目：スポーツ経営学科で学んでいく上での入門です。経営学・スポーツ学・スポーツビジネスの入門知識を身につけます。

経営学基礎科目：最新の経営技術を理解するのに必要な経営学と会計学の基礎知識と関連する情報学の基礎知識を身につけます。

コース科目：地域や職場で積極的にスポーツに関わっていく上で必要な地域とスポーツ科学の基礎知識と、スポーツ産業・経営の理論と実際、スポーツ指導に関わる理論と実際、などのそれぞれの内容を各コースに分かれて身につけます。

スポーツ実習：各スポーツの基礎技術とルールなどを身につけます。

2 地域スポーツマネジャー

これからの日本社会では、地域住民の誰もが、気軽に、生涯にわたりスポーツに関わることが求められます。地域に根ざしたスポーツクラブやスポーツイベントを創り、運営するために必要な知識・実践力をスポーツ経営学科の出来るだけ多くのおみなさんに身につけてもらうためにスポーツ経営学科では、学科の重要な教育目標として「地域スポーツマネジャー」の育成をめざします。「地域スポーツマネジャー」制度の学びの内容が地域スポーツマネジメントです。「地域スポーツマネジャー」の資格は、スポーツ経営学科の4つの分野の専門科目のなかから、必要な科目を修得することによって取得できます。

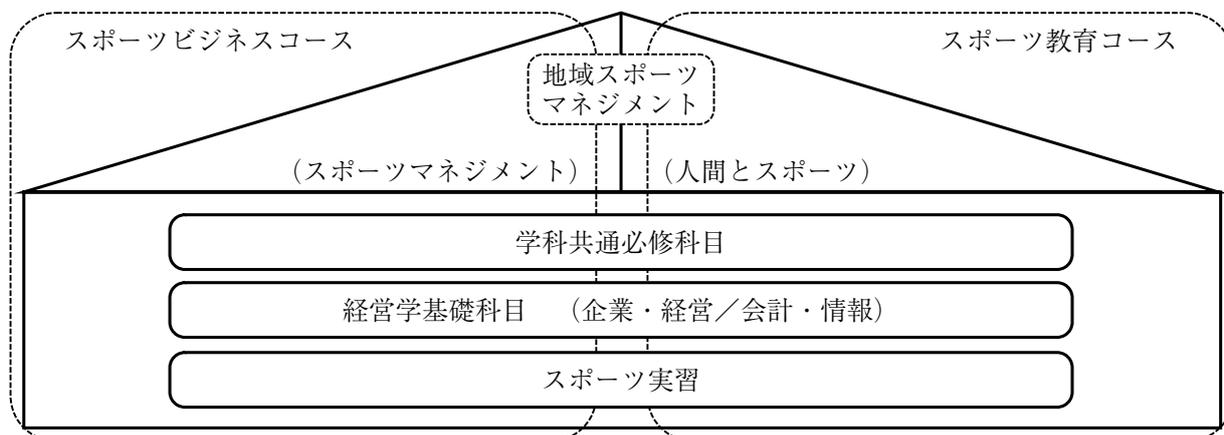
3 コースの選択

スポーツ経営学科には、「スポーツビジネスコース」と「スポーツ教育コース」の2つのコースがあります。

スポーツビジネスコース：変動する経営環境に要請される最新の経営技術に不可欠な経営の基礎知識や経営能力を修得し、スポーツシーンでのビジネスチャンスをつかむ知識とセンスを磨き、スポーツのビジネス化・産業化に寄与できる能力を養います。

スポーツ教育コース：身体の機能やスポーツの技術に関するコーチングを多面的に修得し、体育・スポーツ指導において、発達段階に応じた適切な対処と競技力向上のための様々な知識、安全管理に十分に配慮できるスポーツ科学の知識をもって、教育・指導を实践できる能力を養います。

スポーツ経営学科の専門教育での分野とコースは、下図のような関係になっています。



スポーツ経営学科では、これらのコースのうちいずれかひとつを選び、卒業に必要な単位を取得する決まりになっています。スポーツ経営学科の学生は1年次の後期開始時にコースを選択して、自分の学習・研究目標を定めてください。下表はコースごとに単位が必要な区分を要約したものです。詳しくは開講科目の一覧表を参照してください。

区分		スポーツビジネスコース	スポーツ教育コース
学科共通必修科目		6	6
経営学基礎科目 〔企業・会計・情報〕		16	16
コース 科目*	コース共通科目	4	4
	スポーツビジネス科目 〔スポーツマネジメント〕	8	
	スポーツ教育科目 〔人間とスポーツ〕		8
スポーツ実習		4 (2013年度入学生) 2 (2012年度入学生)	

*コース科目は、18単位（2013年度以降入学生は16単位）以上必要となる。